

# 小学校・国語

問 「わたしは、アサガオの青い**花が**次から次へとさいて、やがて黒い色をしたたくさんの種ができるまでの様子を毎日観察した。」という文の、「**わたしは**」, 「**花が**」の述語をそれぞれ書きましょう。

わたしは →

花が →

問 次の一文には、二つの内容がふくまれています。「ごん」を主語にして、二つの文に分けて書きましょう。

ごんは、ひとりぼっちの小ぎつねで、しだのいっぱいしげった森の中に、あなをほって住んでいました。

(新美南吉「ごんぎつね」による)

問 次の二文を、「わたし」を主語にして一文で書きましょう。  
そのとき「～たり…たり」を使って書きましょう。

- ・ わたしは、昨日、家で読書をしました。
- ・ わたしは、昨日、家で母の手伝いをしました。

問 次の文章の③の文を、「だから」を使って二つの文に分けて書きましよう。

①放送委員会の役員を決める話し合いをした。②ぼくは、委員長を任されることになった。③新しく委員になった5年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

問 「六年生が、一年生の手を引いて、体育館に入場してきました。」を、「一年生」を主語にした文に書きかえましょう。

問 次のローマ字の読みをひらがなで書きましょう。

① h a p p a →

② h y a k u →

③ b a t t a →

④ s y a s i n →

⑤ k i n g y o →

問 次のひらがなをローマ字で書きましょう。

① りんご →

② たべもの →

③ あさって →

④ ひなまつり →

⑤ たなばた →





国語辞典で言葉の意味を調べて書きましょう。

問 次の（ ）に当てはまることばを，下の〔 〕から選んで書きましょう。

- ① 遠足のことを考えると，（ ）。
- ② 発表会を前にして，（ ）。
- ③ 難しいなぞなぞに，（ ）。
- ④ 父は，絵については（ ）。
- ⑤ （ ）と言われるように，まずは自分の目で確かめてみよう。

〔 ・百聞は一見にしかず      ・心がおどる      ・鼻が高い  
・うでがなる      ・目が高い      ・頭をひねる 〕

問 Aさんの家に，Aさんのお父さんと同じ会社で働いているBさんから電話がかかってきました。二人のやりとりの一部を読んで，（ ）の中の言葉を正しく書きかえましょう。

Bさん 「もしもし，お父さんと同じ会社で働いているBと言いますが，お父さんは（いますか）。」

Aさん 「はい。（お父さん）に代わりますので，お待ちください。

時と場，相手に応じて適切に敬語を使いましょう。

問 次の文は，Aさんが「急にお母さんが授業参観に来られなくなった」ことを，先生に伝えている場面です。（ ）の中の言葉を正しく書きかえましょう。

Aさん 「『母は急用で今日の授業参観には来られない』と（おっしゃって）いました。」

問1 「電柱」「鉄道」「鉄筋」「電車」を、国語辞典で調べたときに出てくる順番にならべましょう。

→

→

→

問2 「明日の試合にそなえて早くねる」の「そなえ」の意味を国語辞典で調べるとき、どのような言葉に直して調べるとよいでしょう。

問 Aさんは、漢字辞典で「寿」という漢字の由来を調べようとしていますが。しかし、読み方も部首も分かりません。どのようにして漢字辞典で調べたらよいでしょう。

問 次の文章では、筆者が自分の思いや考えを根拠付けるために引用している言葉があります。その言葉に「」をつけましょう。

4月22日は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。

子供のころ、宮澤賢治の『セロ弾きのゴーシュ』に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。

ある作家の言葉に、読書というものは、その時その時によって読みの味わいがちがうというものがある。子供時代に呼んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるのだ。

先日、『セロ弾きのゴーシュ』を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事なえがき方やたくみな描写に、賢治のすばらしさを実感した。

世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

問 次の赤色の漢字をひらながに直して書きましょう。

- ① リーダーとして勝利に導く。
- ② 話し合いを重ねる。
- ③ 責任をもつ。
- ④ 自然を保護する。
- ⑤ 全員がすぐに承知した。
- ⑥ 水が勢いよく流れる。
- ⑦ 駅は混雑している。
- ⑧ 春から夏へ季節が移る。
- ⑨ めずらしい植物を採集する。
- ⑩ 新しいクラスに慣れる。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	



問 次の赤色の漢字をひらながに直して書きましょう。

- ① 本の目次を見る。
- ② いつも清潔なハンカチをもつ。
- ③ 音楽室に移動する。
- ④ すばらしい演技におどろく。
- ⑤ むだを省くようにする。
- ⑥ 新しいビルを建設する。
- ⑦ 親から独立してくらす。
- ⑧ 参加することを許す。
- ⑨ 乗り物の券を買う。
- ⑩ 子孫のためにゴミを減らす。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

問 次の赤色の漢字をひらながに直して書きましょう。

- ① 道路の**標識**を見る。
- ② **街灯**がつく。
- ③ 友人を家に**招く**。
- ④ 自分の**信念**をつらぬく。
- ⑤ 今日は全国的に**快晴**だ。
- ⑥ お年玉を**貯金**する。
- ⑦ 申しこみの**期限**を決める。
- ⑧ **指示**にしたがう。
- ⑨ **事務室**に行く。
- ⑩ **地域**の行事に参加する。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

問 次の赤色のひらがなを漢字に直して書きましょう。

- ① 友達ときょうりょくする。
- ② 先生にそうだんする。
- ③ 魚をやく。
- ④ ボールをなげる。
- ⑤ かぜをよぼうする。
- ⑥ 駅まで歩いておうふくする。
- ⑦ びょういんに行く。
- ⑧ 人の意見にさんせいする。
- ⑨ 重い石をはこぶ。
- ⑩ ひさしぶりに映画をみる。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

問 次の赤色のひらがなを漢字に直して書きましょう。

- ① ぎじゅつが進歩する。
- ② 星の位置がへんかする。
- ③ 庭にうめの木を植える。
- ④ カラスの数がひじょうに多い。
- ⑤ 部屋のおんどを記録する。
- ⑥ 病院でいしゃにみてもらう。
- ⑦ 東からたいようがのぼる。
- ⑧ 白いぬのを青くそめる。
- ⑨ バスがていしゃする。
- ⑩ 委員会をもうける。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

問 次の赤色のひらがなを漢字に直して書きましょう。

- ① さらを運ぶ
- ② 勝利をいわう。
- ③ シャワーをあびる。
- ④ 鳥のすを観察する。
- ⑤ アサガオのたねをまく。
- ⑥ したしい友人と出かける。
- ⑦ 参加たいしょうは小学生です。
- ⑧ きぼう者を集める。
- ⑨ ゆかに者をおく。
- ⑩ 機械をせいぞうする。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

問 次の赤色のひらがなを漢字に直して書きましょう。

- ① せいげん 時間に気をつける。
- ② つくえの中をせいりする。
- ③ はくぶつかんに出かける。
- ④ 新しい規則をもうける。
- ⑤ 大切にほかんする。
- ⑥ 商品をつつむ。
- ⑦ せっきょくてきに取り組む。
- ⑧ 友達ときょうそうする。
- ⑨ けんこうに生活する。
- ⑩ 学級新聞をいんさつする。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

# 小学校・国語【解答】

問 「わたしは、アサガオの青い**花が**次から次へとさいて、やがて黒い色をしたたくさんの種ができるまでの様子を毎日観察した。」という文の、「わたしは」、「**花が**」の述語をそれぞれ書きましょう。

わたしは →

観察した

花が →

さいて



問 次の一文には，二つの内容がふくまれています。「ごん」を主語にして，二つの文に分けて書きましょう。

ごんは，ひとりぼっちの小ぎつねで，しだのいっぱいしげった森の中に，あなをほって住んでいました。

(新美南吉「ごんぎつね」による)

- ・ ごんは，ひとりぼっちの小ぎつねでした。
- ・ ごんは，しだのいっぱいしげった森の中に，あなをほって住んでいました。

問 次の二文を、「わたし」を主語にして一文で書きましょう。  
そのとき「～たり…たり」を使って書きましょう。

- ・わたしは、昨日、家で読書をしました。
- ・わたしは、昨日、家で母の手伝いをしました。

わたしは、昨日、家で読書をしたり母の手伝いをしたりしました。

問 次の文章の③の文を、「だから」を使って二つの文に分けて書きましよう。

①放送委員会の役員を決める話し合いをした。②ぼくは、委員長を任されることになった。③新しく委員になった5年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

新しく委員になった5年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていた。だから、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

問 「六年生が、一年生の手を引いて、体育館に入場してきました。」を、「一年生」を主語にした文に書きかえましょう。

一年生が、六年生に手を引かれて、体育館に入場してきました。

問 次のローマ字の読みをひらがなで書きましょう。

① h a p p a → はっぱ

② h y a k u → ひゃく

③ b a t t a → ばった

④ s y a s i n → しゃしん

⑤ k i n g y o → きんぎょ

問 次のひらがなをローマ字で書きましょう。

① りんご → r i n g o

② たべもの → t a b e m o n o

③ あさって → a s a t t e

④ ひなまつり → h i n a m a t u r i

⑤ たなばた → t a n a b a t a



国語辞典で言葉の意味を調べて書きましょう。

問 次の（ ）に当てはまることばを，下の〔 〕から選んで書きましょう。

- ① 遠足のことを考えると，（ 心がおどる ）。
- ② 発表会を前にして，（ うでがなる ）。
- ③ 難しいなぞなぞに，（ 頭をひねる ）。
- ④ 父は，絵については（ 目が高い ）。
- ⑤ （ 百聞は一見にしかず ）と言われるように，まずは自分の目で確かめてみよう。

- 〔 ・百聞は一見にしかず      ・心がおどる      ・鼻が高い  
・うでがなる      ・目が高い      ・頭をひねる 〕



時と場，相手に応じて適切に敬語を使いましょう。

問 Aさんの家に，Aさんのお父さんと同じ会社で働いているBさんから電話がかかってきました。二人のやりとりの一部を読んで，（ ）の中の言葉を正しく書きかえましょう。

Bさん 「もしもし，お父さんと同じ会社で働いているBと言いますが，お父さんは（いますか）。」

いらっしゃいますか

Aさん 「はい。（お父さん）に代わりますので，お待ちください。 父

時と場，相手に応じて適切に敬語を使いましょう。

問 次の文は，Aさんが「急にお母さんが授業参観に来られなくなった」ことを，先生に伝えている場面です。（ ）の中の言葉を正しく書きかえましょう。

Aさん 「『母は急用で今日の授業参観には来られない』と（おっしゃって）いました。」

申して，言って

問1 「電柱」「鉄道」「鉄筋」「電車」を、国語辞典で調べたときに出てくる順番にならべましょう。

鉄筋 → 鉄道 → 電車 → 電柱

問2 「明日の試合にそなえて早くねる」の「そなえ」の意味を国語辞典で調べるとき、どのような言葉に直して調べるとよいでしょう。

そなえる

問 Aさんは、漢字辞典で「寿」という漢字の由来を調べようとしていますが。しかし、読み方も部首も分かりません。どのようにして漢字辞典で調べたらよいでしょう。

総画さくいんを使って調べる。

読み方が分かっているとき→「音訓さくいん」で調べる

部首が分かっているとき→「部主さくいん」で調べる

読み方も部首も分からないとき→「総画さくいん」で調べる

問 次の文章では、筆者が自分の思いや考えを根拠付けるために引用している言葉があります。その言葉に「」をつけましょう。

4月22日は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。

子供のころ、宮澤賢治の『セロ弾きのゴーシュ』に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。

ある作家の言葉に、「読書というものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に呼んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるのだ。

先日、『セロ弾きのゴーシュ』を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事なえがき方やたくみな描写に、賢治のすばらしさを実感した。

世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

問 次の赤色の漢字をひらながに直して書きましょう。

- ① リーダーとして勝利に導く。
- ② 話し合いを重ねる。
- ③ 責任をもつ。
- ④ 自然を保護する。
- ⑤ 全員がすぐに承知した。
- ⑥ 水が勢いよく流れる。
- ⑦ 駅は混雑している。
- ⑧ 春から夏へ季節が移る。
- ⑨ めずらしい植物を採集する。
- ⑩ 新しいクラスに慣れる。

①	みちび
②	かさ
③	せきにん
④	ほご
⑤	しょうち
⑥	いきお
⑦	こんざつ
⑧	うつ
⑨	さいしゅう
⑩	な

問 次の赤色の漢字をひらながに直して書きましょう。

- ① 本の目次を見る。
- ② いつも清潔なハンカチをもつ。
- ③ 音楽室に移動する。
- ④ すばらしい演技におどろく。
- ⑤ むだを省くようにする。
- ⑥ 新しいビルを建設する。
- ⑦ 親から独立してくらす。
- ⑧ 参加することを許す。
- ⑨ 乗り物の券を買う。
- ⑩ 子孫のためにゴミを減らす。

①	もくじ
②	せいけつ
③	いどう
④	えんぎ
⑤	はぶ
⑥	けんせつ
⑦	どくりつ
⑧	ゆる
⑨	けん
⑩	しそん

問 次の赤色の漢字をひらながに直して書きましょう。

- ① 道路の**標識**を見る。
- ② **街灯**がつく。
- ③ 友人を家に**招く**。
- ④ 自分の**信念**をつらぬく。
- ⑤ 今日は全国的に**快晴**だ。
- ⑥ お年玉を**貯金**する。
- ⑦ 申しこみの**期限**を決める。
- ⑧ **指示**にしたがう。
- ⑨ **事務室**に行く。
- ⑩ **地域**の行事に参加する。

①	ひょうしき
②	がいとう
③	まね
④	しんねん
⑤	かいせい
⑥	ちょきん
⑦	きげん
⑧	しじ
⑨	じむしつ
⑩	ちいき



問 次の赤色のひらがなを漢字に直して書きましょう。

- ① 友達ときょうりょくする。
- ② 先生にそうだんする。
- ③ 魚をやく。
- ④ ボールをなげる。
- ⑤ かぜをよぼうする。
- ⑥ 駅まで歩いておうふくする。
- ⑦ びょういんに行く。
- ⑧ 人の意見にさんせいする。
- ⑨ 重い石をはこぶ。
- ⑩ ひさしぶりに映画をみる。

①	協力
②	相談
③	焼
④	投
⑤	予防
⑥	往復
⑦	病院
⑧	賛成
⑨	運
⑩	久

問 次の赤色のひらがなを漢字に直して書きましょう。

- ① ぎじゅつが進歩する。
- ② 星の位置がへんかする。
- ③ 庭にうめの木を植える。
- ④ カラスの数がひじょうに多い。
- ⑤ 部屋のおんどを記録する。
- ⑥ 病院でいしやにみてもらう。
- ⑦ 東からたいようがのぼる。
- ⑧ 白いぬのを青くそめる。
- ⑨ バスがていしやする。
- ⑩ 委員会をもうける。

①	技術
②	変化
③	梅
④	非常
⑤	温度
⑥	医者
⑦	太陽
⑧	布
⑨	停車
⑩	設

問 次の赤色のひらがなを漢字に直して書きましょう。

- ① さらを運ぶ
- ② 勝利をいわう。
- ③ シャワーをあびる。
- ④ 鳥のすを観察する。
- ⑤ アサガオのたねをまく。
- ⑥ したしい友人と出かける。
- ⑦ 参加たいしょうは小学生です。
- ⑧ きぼう者を集める。
- ⑨ ゆかに者をおく。
- ⑩ 機械をせいぞうする。

①	皿
②	祝
③	浴
④	巢
⑤	種
⑥	親
⑦	対象
⑧	希望
⑨	置
⑩	製造

問 次の赤色のひらがなを漢字に直して書きましょう。

- ① せいげん 時間に気をつける。
- ② つくえの中をせいりする。
- ③ はくぶつかんに出かける。
- ④ 新しい規則をもうける。
- ⑤ 大切にほかんする。
- ⑥ 商品をつつむ。
- ⑦ せっきよくてきに取り組む。
- ⑧ 友達ときょうそうする。
- ⑨ けんこうに生活する。
- ⑩ 学級新聞をいんさつする。

①	制限
②	整理
③	博物館
④	設
⑤	保管
⑥	包
⑦	積極的
⑧	競争
⑨	健康
⑩	印刷